



▲ 都民など大勢詰めかけた新国勇さんの講演会

## 只見町ブナセンター・東京講演会 只見の自然や特産品を都内でPR

2月25日、東京の福島県八重洲観光交流館で、只見町ブナセンターの東京講演会が開かれました。参加者は62名と立ち見が出るほどのにぎわいのなか、ブナセンター主任指導員の新国勇さんが只見の自然を中心に講演しました。訪れた只見町出身者や柏市民、観光で只見を楽しんだ方などにより、活発な意見交換も行われました。また、観光まちづくり協会が只見町の物産販売を行い人気を集めました。

## 心 ひなまつり弁当 温まる手作りのおいしさを・・・

只見町食生活改善推進委員会では、毎年、3月3日のひな祭りに70歳以上の一人暮らしの方を対象に「ひなまつり弁当」をお届けする、只見町社会福祉協議会の事業に協力しています。今年も推進委員会の方々が、一品一品真心込めて手作りました。作りたての温かいお弁当は、民生児童委員の皆さんが、208人の方々に届けられました。お弁当を手にとられた方は、今年も、ひな祭り気分を味わいました。



▲ ひなまつり弁当を受け取る一人暮らしの方

## 燃 上福井地区「おんべ」 え上がる炎に無病息災願う



▲ おんべの火で餅を焼いて食べる参加者

今年一年の無病息災や五穀豊穰を願い2月26日、上福井地区で、歳の神「おんべ」が行われ約100人が参加しました。日中は集会所で舞踊やカラオケを楽しみ、夕方に茅や藁を積み重ね作られた高さ約7メートルの「おんべ」周辺に集合。年男らが一斉に「おんべ」に火を放つと、炎は勢よく燃え上がり氷点下の夜空を赤々と焦がしました。この日は千葉県柏市民も参加、雪国の伝統行事を体験しました。

## 伝 明和小学校「つる細工教室」 統の技を楽しく学ぶ

明和小学校で、地域の方との交流や、地域に伝わる伝統技術を学ぶことなどを目的に、地元のつる細工保存会の方8名を招き、2月22日につる細工教室を開きました。対象は5年生と6年生の23名、ときどき保存会の方に手伝ってもらいながら、集中し黙々と小物などを入れるカゴを約2時間かけて仕上げていました。児童は「最初は難しかったが途中から慣れてきて楽しくできた」と笑顔で話しました。



▲ 楽しく和やかにカゴを作る明和小児童

## 歌 只見保育所「ひなまつり会」 やゲームで楽しいひととき



▲ おすまし顔で気分はひな人形の保育所児

只見保育所で3月2日、ひなまつり会が行われ、楽しいひとときを過ごしました。はじめに、ひなまつりの歌をみんなで歌い、ムードが盛り上がったあと、ひなまつりのお話を聞いてお祝いをしました。ゲーム遊びでは、先生がひな人形に変身し踊りを披露したあと、ひな人形の間違い探しゲームを行い、服装や持ち物などが、関係のないものに変わるたびホールに、保育所児の大歓声が響いていました。

## 只 奥会津・雪まつりと温泉満喫ツアー 見ふるさとの雪まつりを体験

奥会津五町村活性化協議会（只見町・柳津町・三島町・金山町・昭和村）では、2月11日～12日に、東京都北区滝野川商店街周辺住民24人を招き「奥会津・雪まつりと温泉満喫ツアー」を行いました。同協議会は、昨年8月から11月まで滝野川商店街で特産品の販売や餅つきなどを行い交流を深めました。只見の雪まつりを体験した参加者は、深い雪と奥会津の伝統文化や食に感激していました。



▲ 入場門前で記念写真に納まる参加者

## 只 またたび屋・つる細工講習 見の伝統技術を次世代に...



▲ 技術を受け継ごうと作業に励むメンバー

只見のつる細工技術を伝承し、後継者を育てようと地域の有志が集い組織された「またたび屋（代表：渡部和子さん）」では、毎週木曜と日曜にブナセンターで、町内で採れたまたたびを使ってのつる細工講習を開いています。講師はつる細工技術を習得された地元の方で、多い日は20名のメンバーが集まり、講師の指導を受けながら、熱心にザルやカゴ作りに取り組んでいます。講習は3月末まで行われます。